

農業者の皆さま、関係業者の皆さまへ

病害虫のまん延防止のため 土壌の移動は絶対ダメ！

土壌を他のほ場に移動させることで、農業生産に大きな影響を与える病害虫のまん延リスクが高まります。

まん延防止のため、関係する皆さまの対策をお願いします。

○土壌の移動が原因で拡散する病害虫の例

ジャガイモシストセンチュウ類・・・

馬鈴しょの根に寄生する害虫。寄生すると養分の吸収を阻害し、生育不良となり収量が減少し、**馬鈴しょの作付ができなくなる場合**があります。



ジャガイモシストセンチュウにより生育不良となった馬鈴しょ



小麦の健全粒（写真上）となまぐさ黒穂病発病粒（写真下）

コムギなまぐさ黒穂病・・・

カビによる病害で、発病粒は生臭い異臭を放ちます。健全粒との混入を防ぐため、発病ほ場では**廃耕となる場合**があります。

その他にも、コムギ縞萎縮病・コムギ条斑病・てんさいそう根病・タイズシストセンチュウなどの土壌病害虫が発生しています。

○土壌を移動させないために皆さまにお願いしたいこと

農業機械や車両の土は他のほ場へ持ち込まないよう、必ず洗浄しましょう！

複数の生産者のほ場を移動する共同利用機械、集荷トラックなどは、特に注意しましょう。



ほ場の出入りの際は、細心の注意が必要です。

靴に付いた土を、他のほ場へ移動させないために、**オーバーシューズを必ず使用しましょう！**

オホーツク地域の農業を守っていくため、農業に関係する皆さま一人一人が病気や害虫のまん延防止に取り組みましょう！

発行：オホーツク地域重要病害虫対策推進会議

(中央会北見・ホクレン北見・林-つ農協連・林-つNOSAI・北見農試技術普及室・網走農改・振興局)

(令和2年10月発行)